



常盤高校 Q & A

Q1 看護師ってどんな職業ですか？

- A1 看護師とは、医療、保健、福祉等の場において、以下のような仕事を行います。
- (1) 医師等が患者を診療する際の補助
 - (2) 病気や障害のある人々の日常生活における援助
 - (3) 疾病の予防や健康の維持増進を目的とした教育

Q2 看護職には、看護師と准看護師があるようですか？

- A2 看護師は、国家試験に合格して国家資格を持っていますが、准看護師は、都道府県知事が交付する免許であり、国家資格ではありません。
- 准看護師は、「看護業務を医師、歯科医師又は看護師の指示を受けて行う」と法律に定められています。准看護師免許を取ったのちにいずれは看護師免許を取る人が多いようです。

Q3 看護師になるには？

- A3 看護師になるには、看護師国家試験に合格しなければなりません。

Q4 看護師国家試験は誰でも受けられるのですか？

- A4 高校卒業後、厚生労働大臣指定の養成所（3年）又は文部科学大臣指定の学校（看護学校・短大3年～4年、大学4年）で所定の単位（93単位以上）を修得すると、国家試験受験資格が得られます。あるいは、5年一貫看護師養成高等学校を修了しても、国家試験受験資格が得られます。この場合は、看護師になるための最短コースで、普通高校に進んだ場合より1年早く看護師になることができます。
- どこの学校でも、卒業（修了）したら自動的に看護師になれるわけではありません。厳しい授業や病院実習を経て、卒業（修了）前の、2月の国家試験に合格しなければ、看護師免許は得られません。

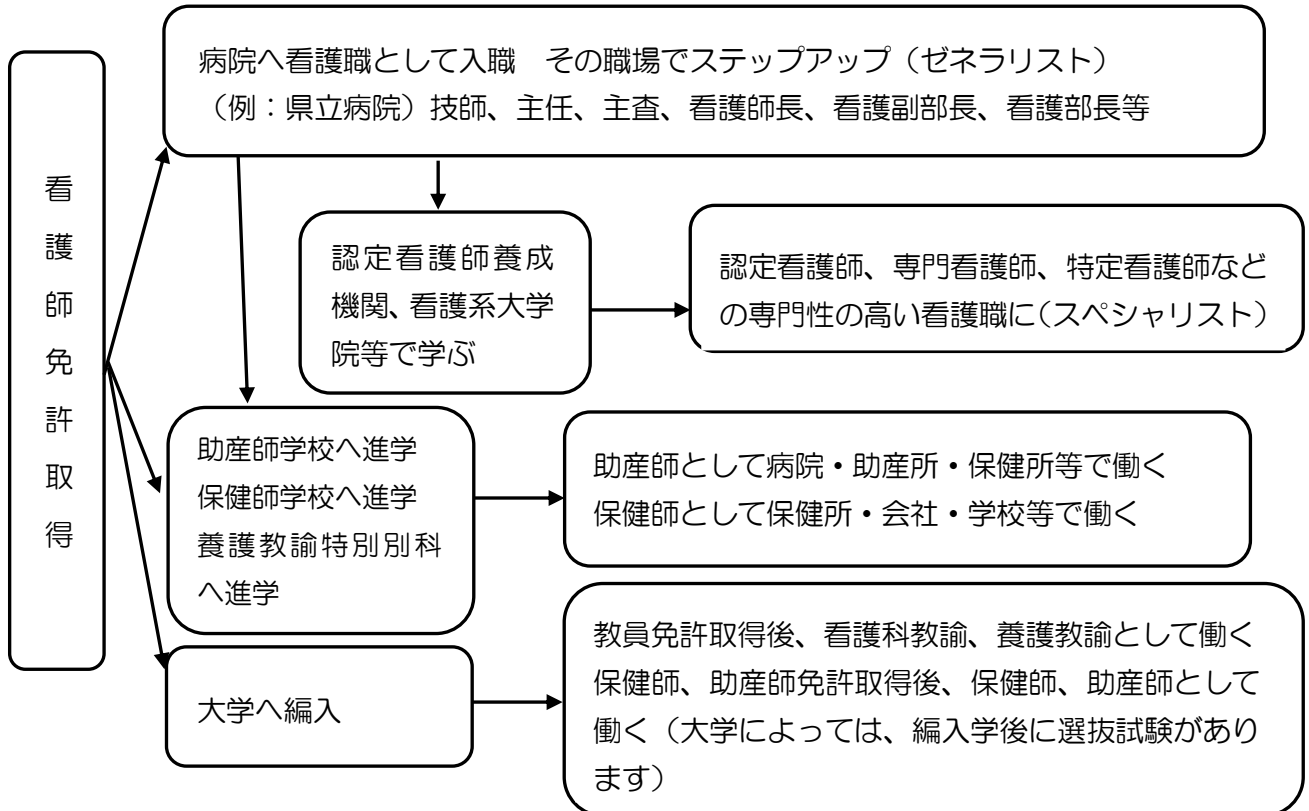
Q5 国家試験は難しいですか？

- A5 毎年2月中旬の日曜日に行われます。昨年度の試験科目は、ア 人体の構造と機能、イ 疾病の成り立ちと回復の促進、ウ 健康支援と社会保障制度、エ 基礎看護学、オ 成人看護学、カ 老年看護学、キ 小児看護学、ク 母性看護学、ケ 精神看護学、コ 在宅看護論、サ 看護の統合と実践でした。午前・午後ともに2時間40分、120問の合計240問出題です。その中には必須問題が50問あり、正答率80%以上が合格に必要とされています。残りの190問も70%程度正解しなければならない大変な試験です。
- 合格率は全国平均で、令和2年第109回89.2%、令和3年第110回90.4%です。常盤高校はほぼ100%に近い合格率です。

Q6 看護師免許を取得したあとは？

A6 医療機関等で看護師・保健師として働くことができます。また、大学への編入等により、教員免許や保健師、助産師免許を取得することもできます。

(保健師、助産師免許の場合、大学によっては編入後に選抜試験があります。)



Q7 常盤高校看護専攻科を修了すると？

A7 ほぼ全員が県内の病院に就職します。令和3年春は、病院に就職を希望した生徒全員が就職しました。また7名が専門学校の助産師学校へ進学、1名が4年制大学に編入しました。それ以前には大学の養護教諭特別別科や専門学校の保健師学校にも進学しています。常盤高校は51年(1970年創立)の歴史があるので、県内のほとんどの病院で常盤の卒業生に会うことができます。卒業生の中には、常盤高校の教員として、未来の看護師を育成している人も多くいます。

志を持って受検を！

看護師という職業は、人の健康や命に関わる重要な仕事です。強い使命感、高い倫理観、勤労意欲、健康な身体が必要です。

常盤高校に入学するということは、将来看護師(助産師や保健師)として社会に貢献することを決意したということです。

人から勧められたからなんとなくというのではなく、自分が必ず看護師として一人前になり、患者さんに心のこもった看護をするという強い気持ちを確認して志望してください。

